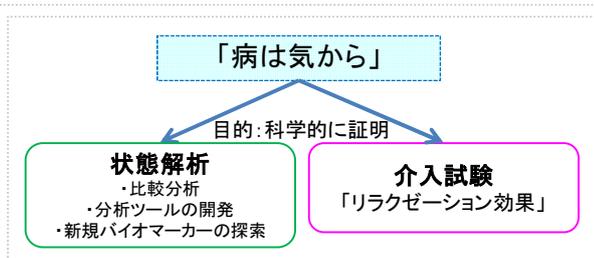


◆ 研究分野	・公衆衛生学 ・環境毒性学 ・食品衛生学 ・環境生化学 ・皮膚科学
◆ キーワード	・唾液 ・母乳 ・頸管粘液 ・健康評価 ・唾液年齢
◆ 産業界での応用の可能性等	・リラクゼーション効果の期待できる素材や療法の開発 ・乳幼児の口腔ケア製品の開発 ・母乳育児用サプリメントの開発
◆ 共同研究・受託研究可能なテーマ	・抗ストレス素材および新規リラクゼーション療法の効果検証 ・ヒトを対象とした口腔ケア製品の効果検証
◆ 利用可能な設備・機器等(共用機器も可)	・微弱発光測定器 ・マイクロプレートリーダー(可視、蛍光) ・表皮角質水分計 ・深部体温測定装置 ・グラビコーダー
◆ 関連の知的財産等	・特許第 4274492 号 ・特許第 4758328 号 ・特願 2009-60680 ・特願 2011-253506
◆ 所属学会	・免疫毒性学会 ・日本水環境学会 ・日本海洋深層水利用学会 ・日本薬学会 ・日本免疫学会 ・日本補完代替医療学会 ・日本疲労学会 ・国際精神神経免疫学会

研究紹介 (概要)

外分泌液の変化から心身のストレス状態を観る



上記の図のようなイメージで、

1) 日々の健康をモニターリングしながら、唾液、母乳、頸管粘液など各種体液成分を分析し、新たな採取器具や測定器、および評価法の開発してきています。

そして、一般公募の機変者を対象に

2) リラクゼーション効果の検証を中心に研究を進めてきています。

その成果として、

1. 新たなストレス評価系を特許登録し、携帯用微弱発光測定器(右写真)を開発。



2. 新規唾液採取器具 (Clinica Chimica Acta, 425, (2013) 181-185)や、採便器具キットを商品化(右図)。



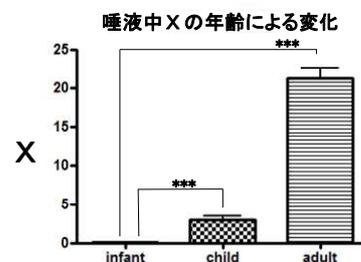
3. 海藻療法(右写真)の結果から、サガrameを利用した化粧品及び該化粧品類を特許出願中。



最近、母乳成分の内、特定の成分が日々のストレスにより、大きく変化することが解ってきました。また、乳幼児もベビーマッサージでリラックスすると成人と類似の変化がヨダレ成分中に観えるようになりました。加えて、現在、不妊症に悩む女性を対象に、頸管粘液不妊症の改善に向けて海洋療法の効果を検証中です。

社会、産業界へのPR

ストレスや体調不良による母乳成分変動と、乳幼児のヨダレ成分の研究から、母体の負担を軽減でき、乳幼児を不特定の感染から防御できる、新たな栄養強化ミルクや乳児用サプリメントの開発、あるいは育児環境の創出に興味があります。



職名	教授		
氏名	高木 邦明		
ローマ字	Kuniaki Takagi	学位	医学博士
所属学部等	生命・環境科学部	所属学科等	臨床検査技術学科
所属研究室等	衛生学研究室	URL	http://www.azabu-u.ac.jp/lab/lm/lm_004.html